

嘔吐・排泄物で汚染されたリネンの処理 (熱による消毒編)

感染性胃腸炎（ノロウイルス感染症）が疑われる場合には、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）による消毒が基本ですが、塩素系漂白剤が使用できない場合は、熱による消毒を行います。（熱湯、アイロン等）

【必要物品】 (熱湯による消毒の場合) マスク、手袋、ビニールエプロン、ペーパータオル、ペットシート、ビニール袋（廃棄物用）、熱湯、重し（風呂のふた等） 	1  ※撮影のために布団にビニールカバーをかけています 嘔吐物等をペーパータオル等で広めに覆い、取り除く。 手袋は嘔吐物に触れているので、新しいものに交換する ※使用後の手袋はビニール袋へ入れる	2  吸水面を上にして、ペットシートで全体を覆う。	3  表面温度が85℃以上になるように沸騰直後のお湯を布団全体にいきわたるようにかける。 ※やけどに注意 お湯がはねように注意
4  熱が逃げないように熱湯をかけたペットシートをレジャーシートで覆う	5  さらにその上から風呂のふた等で重しをし、密着させる。 (密着させることで温度の低下を防止する) 3分間待つ。	6  3分経過したら、上から順番にはずす。処理に使用したペットシート、手袋、エプロンは、ビニール袋にまとめ、もえるごみとして破棄する。	8  処理後は、流水と石けんで手洗いをする。 (アルコール消毒はノロウイルスに効果が得られにくい) 処理した布団は天日干しする。